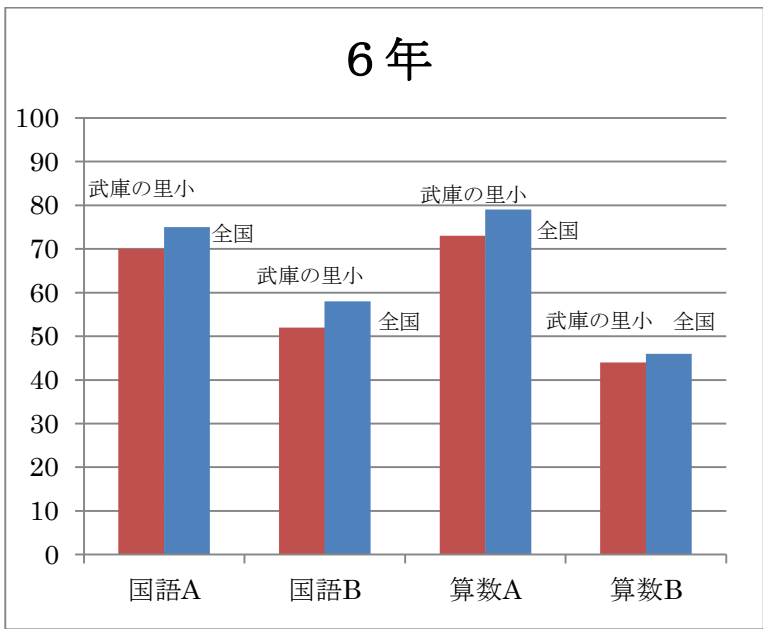


さとっ子は頑張っている！！

平成29年度学力・学習調査結果より～



改善を要する項目	武庫里小	全国
毎日、同じ時刻に寝ている。	69%	79%
困難なことでも失敗を恐れないです。	60%	76%
自分にはよいところがあると思う。	65%	77%
地域のことを調べたり交流したりする機会があった。	29%	69%
学校が休みの日には1時間以上勉強をしている。	77%	88%
学校の授業以外に、1日「読書」を30分以上する。	20%	34%
家の人(親)と将来のことを話す。	31%	50%
授業の予習をする。	13%	53%

全国より優れた値を示している項目	武庫里小	全国
将来の夢や希望を持っている。	87%	85%
先生は自分の良いところを認めてくれる。	87%	84%
読書は好きだ。	85%	74%
いじめはどんなことがあってもいけない。	96%	95%
ノートに学習の目当てなどを書いている。	90%	87%
学校で友達に会うのは楽しい。	98%	95%
人が困っていたら進んで助ける。	95%	84%

日ごとに、秋が深まってまいりました。今月には音楽会を控え子ども達は練習に頑張っています。保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月18日に行われました、平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について、文部科学省より結果報告を受けましたのでお知らせ致します。

左の図でもわかるように、本校児童(6年生:83名)は国語科では、国語A(基礎知識) 平均正答率70%で全国平均75%より少し劣っています。国語B(活用能力)では、平均正答率52%で全国平均58%より下回っている結果が出ています。これは、基礎知識及び応用力が今一步努力が必要であると考えられます。今後なお一層の基礎基本の定着を図り応用力に結びつける努力が大切だと考えられます。

一方算数科を見ると、算数A(基礎知識)では平均正答率73%で全国平均79%より少し低く、また算数B(活用能力)でも平均正答率44%で全国平均46%よりわずかに低い結果が出ています。

2つの教科をもう少し詳しく分析すると、国語科については、「話す聞く能力」・「言語」また、「書くこと的能力」・「読む能力」は1%程度下回るもののほとんど全国レベルに達しており、大きな差異はありません。ことわざや俳句に対しての知識理解は全国平均よりも上回っています。今後も一層国語の授業において、児童が興味関心を持てるような指導を心がけていきます。

算数科については、量と測定(リボンの長さや代金の関係等)に関する事項について全国平均より2%ほど高く、1あたり量についての知識が身につけているようです。また、四則計算(加減乗除が混合されたもの等)においてもミスは少ないです。しかし、資料から分類したり整理して考える力は4～10%程度下回っています。今後は算数科の研究を一層深め、児童の学力に反映していきます。

さて、意識調査(児童質問紙)を考察すると、改善を要する項目(全国平均より差が大きいもの)では、「地域のことを調べたり交流したりする機会がある」の項目や「授業の予習をする」等が気になりました。今後は、児童が地域の行事に積極的に参加するようパンフレットを活用して促したり、前もって学習するところを教科書等で確認するなど、問題点をさらに掘り下げ、教職員で検討改善していきます。

また、全国平均より優れている項目では、「読書好き」な児童や「人が困っていたら声をかける(助ける)」児童が多いことなど大変よいことではないでしょうか。素直な気持ちで毎日生活している、武庫里小の児童の様子がうかがえます。これからも、これらのデータを分析し、学校と家庭が連絡を密にして子ども達を育て参りたいと思います。以上